

平成21年 3 月期 第 3 四半期決算短信

平成21年 1 月30日

上 場 会 社 名 e B A S E株式会社

上場取引所 大証へラクレス

コ ー ド 番 号 3835

URL <http://www.ebase.co.jp/>

代 表 者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)常包 浩司

問合せ先責任者 (役職名)取締役

(氏名)窪田 勝康

TEL (06)6486—3955

執行役員C F O

四半期報告書提出予定日 平成21年 2 月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成20年 4 月 1 日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
21年 3 月期第 3 四半期	656 —	257 —	260 —	152 —
20年 3 月期第 3 四半期	423 10.0	57 △39.6	58 △28.4	32 △28.0

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年 3 月期第 3 四半期	10,699 14	10,459 66
20年 3 月期第 3 四半期	2,319 06	2,209 09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年 3 月期第 3 四半期	970	848	87.2	58,820 13
20年 3 月期	804	735	91.3	51,381 64

(参考) 自己資本 21年 3 月期第 3 四半期 846百万円 20年 3 月期 734百万円

2. 配当の状況

	1 株当たり配当金				
(基準日)	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年 3 月期	— —	— —	— —	1,700 00	1,700 00
21年 3 月期	— —	— —	— —	— —	— —
21年 3 月期(予想)	— —	— —	— —	2,200 00	2,200 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年 3 月期の連結業績予想 (平成20年 4 月 1 日～平成21年 3 月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通期	840 19.8	277 34.6	280 34.4	157 32.5	10,988 24

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
- ② ①以外の変更 : 無
- [(注) 詳細は、【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- | | | | |
|-------------|---------|--------|---------|
| 21年3月期第3四半期 | 14,522株 | 20年3月期 | 14,288株 |
|-------------|---------|--------|---------|
- ② 期末自己株式数
- | | | | |
|-------------|------|--------|----|
| 21年3月期第3四半期 | 137株 | 20年3月期 | 一株 |
|-------------|------|--------|----|
- ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)
- | | | | |
|-------------|---------|-------------|---------|
| 21年3月期第3四半期 | 14,282株 | 20年3月期第3四半期 | 14,002株 |
|-------------|---------|-------------|---------|

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（平成20年4月～平成20年12月）における世界経済は、米国のサブプライム・ローン問題に端を発したグローバルな金融市場の混乱、素材・資源価格の高騰に加え、米国を始めとする世界的な景気後退懸念により企業収益は減少傾向にあり、景気の下振れリスクが高まっております。当社グループの属する情報サービス分野におきましては、IT化によるコストダウンや効率化を背景に、情報化投資は順調に推移しておりましたが、景気後退懸念より急速に顧客企業のIT投資への減速が顕在化してきております。結果、製品・サービスへの高付加価値、低価格化、高品質化、効率化に向けた取組が一層重要になってきております。又、同時に当社グループの重点顧客である食品業界では、当第3四半期累計期間に発生しました事故汚染米事件や中国粉ミルク汚染事件を含めて様々な「食の安全・安心対策」への需要は急速に拡大しています。このような経営環境の下、当社グループは、社会の緊急課題である「商品の安全・安心」に対する企業間における商品情報交換プラットフォームとしてのソリューション提供に注力しております。特に食品業界における「食の安全・安心（アカウンタビリティやトレーサビリティ）」については、生産者、加工メーカー、卸、小売を結ぶ精度の高い商品（品質管理）情報交換ニーズに対してのIT市場は急速に拡大しております。その結果、弊社製品の利用者は累計で約40,000ユーザー（平成20年12月現在）となり、商品情報交換の標準プラットフォームとしての普及、標準化は順調に進行しております。

当第3四半期累計期間の事業拡大への重点的な取り組みといたしましては、「食品業界」では食品スーパーを中心とした“小売企業”への「FOODS eBASE」の販売促進を強化しました。さらに“一般消費者”への「食の安全安心情報（原材料、原産地、アレルギー等）」の情報開示が緊急課題として求められ、情報収集・管理ニーズから情報開示ニーズ（WebやPOP等）へと“一般消費者ニーズ”の進化に対応したソリューションの開発・リリースを行いました。又、加工食品にとどまらず、生鮮3品の商材の仕様書・生産履歴情報収集・管理機能を有する新製品「eB-fresh」のリリースも行いました。「環境関連市場」では、欧州の有害化学物質含有製品の輸出入規制に関わるREACH規制の予備登録が平成20年6月に施行された事から「GREEN eBASE」の需要が活発化してまいりました。さらに「商品の安全・安心関連」では、食品商材に留まらず、“生活関連商材（アパレル、日雑、化粧品等）”の仕様（品質）管理ソリューションである「GOODS eBASE」の市場での実運用もスタート致しました。これら重点事業領域に適合した製品開発をタイムリーに行う事で、今後の事業拡大に向けた開発投資を積極的に行ないました。

こうした結果、当第3四半期累計期間の連結業績は、売上高656,630千円（前年同四半期比232,809千円増）、一方、販売費及び一般管理費は、これら重点事業を遂行する上で必要な開発、サポート体制及び営業体制の強化のための新規採用による人件費増及び製品力強化のための開発費増等により357,448千円（前年同四半期比31,275千円増）となり、この結果、営業利益257,934千円（前年同四半期比200,489千円増）、経常利益260,147千円（前年同四半期比201,626千円増）、四半期純利益は152,805千円（前年同四半期比120,333千円増）と大幅な増収増益となりました。

※ 前年同四半期比の金額は、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産の部）

当第3四半期末の総資産は前連結会計年度末に比べ、165,673千円増加し970,202千円となりました。主な要因は現金及び預金が123,436千円増加したこと、投資有価証券の取得により増加したこと等であります。

（負債の部）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、53,491千円増加し122,053千円となりました。主な要因は四半期純利益の計上に伴い未払法人税等が増加したこと等によるものであります。

（純資産の部）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、112,182千円増加し848,148千円となりました。これは主に、配当金支払により利益剰余金が減少したことや自己株式の取得があったものの、四半期純利益を152,805千円計上したことにより利益剰余金が増加したこと等によるものであります。これにより自己資本比率は87.2%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、平成20年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
 - ・「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
 - ・「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この変更に伴う損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	351,340	227,903
受取手形及び売掛金	239,837	227,634
有価証券	199,916	99,960
仕掛品	1,977	1,659
その他	25,221	8,677
貸倒引当金	△1,451	△1,381
流動資産合計	816,842	564,453
固定資産		
有形固定資産	10,041	9,047
無形固定資産	3,608	4,438
投資その他の資産		
投資有価証券	15,500	99,853
長期預金	100,000	100,000
その他	24,210	26,735
投資その他の資産合計	139,710	226,589
固定資産合計	153,360	240,076
資産合計	970,202	804,529
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	320	2,441
未払法人税等	68,793	38,481
その他	52,939	27,638
流動負債合計	122,053	68,562
負債合計	122,053	68,562
純資産の部		
株主資本		
資本金	186,086	181,601
資本剰余金	158,586	154,101
利益剰余金	526,953	398,437
自己株式	△25,498	—
株主資本合計	846,127	734,140
少数株主持分	2,021	1,825
純資産合計	848,148	735,966
負債純資産合計	970,202	804,529

(2) 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	656,630
売上原価	41,247
売上総利益	615,383
販売費及び一般管理費	357,448
営業利益	257,934
営業外収益	
受取利息	2,210
その他	3
営業外収益合計	2,213
経常利益	260,147
特別利益	
有形固定資産売却益	669
特別利益合計	669
税金等調整前四半期純利益	260,817
法人税、住民税及び事業税	107,460
法人税等調整額	357
法人税等合計	107,817
少数株主利益	195
四半期純利益	152,805

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	260,817
減価償却費	4,465
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	69
受取利息及び受取配当金	△2,210
有形固定資産売却損益 (△は益)	△669
売上債権の増減額 (△は増加)	△12,202
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△307
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,121
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,489
その他の資産・負債の増減額	8,232
小計	259,563
利息及び配当金の受取額	1,562
法人税等の支払額	△78,394
営業活動によるキャッシュ・フロー	182,731
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△130,000
定期預金の払戻による収入	80,000
有形固定資産の取得による支出	△5,181
有形固定資産の売却による収入	2,034
無形固定資産の取得による支出	△810
投資有価証券の取得による支出	△15,500
貸付金の回収による収入	771
差入保証金の差入による支出	△268
差入保証金の回収による収入	214
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68,740
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	8,970
自己株式の取得による支出	△25,498
配当金の支払額	△24,025
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40,554
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	73,436
現金及び現金同等物の期首残高	227,903
現金及び現金同等物の四半期末残高	301,340

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占めるeBASE事業の割合が、いずれも90%を超えるため、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前四半期に係る財務諸表等

(1) 前四半期連結損益計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	
区分	金額(千円)	
I 売上高		423,821
II 売上原価		40,203
売上総利益		383,618
III 販売費及び一般管理費		
1 役員報酬	62,613	
2 給与手当	121,689	
3 法定福利費	20,506	
4 旅費交通費	28,219	
5 支払手数料	12,737	
6 研究開発費	18,464	
7 減価償却費	3,023	
8 その他	58,917	326,173
営業利益		57,444
IV 営業外収益		
1 受取利息	1,014	
2 その他	62	1,076
経常利益		58,521
V 特別利益		
1 貸倒引当金戻入	490	490
税金等調整前四半期純利益		59,012
法人税、住民税及び事業税	16,606	
法人税等調整額	10,687	27,293
少数株主損失		752
四半期純利益		32,471

(2) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	59,012
2 減価償却費	4,730
3 貸倒引当金の増加額(△減少額)	△490
4 受取利息	△1,014
5 売上債権の減少額(△増加額)	82,422
6 たな卸資産の減少額(△増加額)	△2,050
7 仕入債務の増加額(△減少額)	△3,801
8 未払消費税等の増加額(△減少額)	△7,089
9 その他	9,097
小計	140,815
10 利息の受取額	308
11 法人税等の支払額	△108,698
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,425
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 定期預金の預入による支出	△150,000
2 投資有価証券の取得による支出	△199,745
3 有形固定資産の取得による支出	△1,361
4 無形固定資産の取得による支出	△2,800
5 貸付金の回収による収入	341
投資活動によるキャッシュ・フロー	△353,564
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 株式の発行による収入	2,880
2 配当金の支払額	△13,821
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,941
IV 現金及び現金同等物の増加(減少)額	△332,080
V 現金及び現金同等物の期首残高	441,513
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	109,432

(3)セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額にeBASE事業の割合がいずれも90%を超えるため、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。